

# 「Speed Sketch」

アニメーション学科 小柳貴衛 Takae Koyanagi



今回展示するのはタブレットデバイスで制作したイラストレーションである。

展示タイトルに「Speed～」とついており、文字通り素早く完成させたスケッチ（約1時間）と、比較的時間をかけた絵が混在しているが、無駄な工程を踏まずスピーディにイメージを定着させるという意味では共通している。

絵を描く際に使用しているデバイスは手に馴染んでおり、不思議なことにデバイスを使用し始めてから以前より観察から導き出される色や形にフォーカスするようになった。またデジタルの画材はアナログ画材のシュミレーション要素が強いため反対にアナログ画材により興味を持ち、双方の特性について考えたり実験を重ねていく気持ちが強くなった。

アナログ・デジタルかかわらず、ツールは使い始めた初期の段階はそれを理解し、自分の思考とそれらをつなげることに一苦労する。現在はそこはクリアし、とりあえず思考をつなげ、ツールを手のように使えるようになったばかりのいつてしまえばまだまだ初期の段階だと思っている。これから自分が描くものがどう変化するか、楽しみである。



多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業

テレビ制作会社等を経て、2006年に東京工芸大学アニメーション学科の助手として着任。

大学在学時にアニメーションやイラストレーションに興味を持ち、現在も美術デザイン、アニメーションの映像制作（PV CM等）、イラストレーション制作、ワークショップ企画等も行方。

